

桃巖寺の紅葉

何回もレポートしてきたが、名古屋大中央図書館への行き帰りに、本山の桃巖寺を眺める。本山から坂道なので、暑い夏などには木陰で一休み。春の桜、秋の紅葉の頃には、多くの写真を撮ってきた。写真をフェイスブックに投稿すると、いつもとは違って、多くの反響がある。

最近、久しぶりに境内をぐるりと回り、10枚の写真を撮った。最初の7枚は11月23日。あとの3枚は29日。紅葉の変化を見てとれる。フェイスブックに投稿したが、せっかくなので、レポートでも紹介しておきたい。

桃巖寺は、春の桜もいいが、やはり秋の紅葉がなんとも言えない。秋晴れの日、それも朝方には、青い空のもとで、緑と赤が色鮮やかだ。

境内で、本格的にカメラを構える人が目につく。竹やぶや小さな池

も風情があり、お気に入りだ。

桃巖寺には「名古屋大仏」もある。奈良や鎌倉の大仏さんは超有名だが、この緑の大仏さんを知らない名古屋人も多いのでは。

「名古屋高年大学」の講義では、自己ピーアールを兼ねて、まち歩きを話題にする。最初は「愚痴聞き地蔵」さん。最後は桃巖寺を例にあげる。桃巖寺の紅葉には、称賛の声が。「名古屋大仏」の写真には、驚きの声も。なぜ大仏さんが緑なのか。幻になった名古屋五輪に関係するらしいと話すと、これにも注目が集まる。

今年の講義も、桃巖寺と「名古屋大仏」で幕にすることにしよう。

(2017年12月4日)

